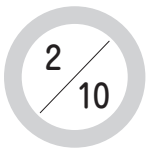




『広報のぼりべつ』と『きらり登別』が特選

第58回北海道広報コンクール



▲特選を受賞した平成23年9月号の表紙(右)、入選した平成23年3月号(左上)、登別市初の特選となった『きらり登別』



広報紙や広報写真の技術向上を図るため、北海道や北海道市長会などが主催する『第58回北海道広報コンクール』で、『広報のぼりべつ』と登別市PR映像作品『きらり登別』が入賞しました。

『広報のぼりべつ』は、昨年8月に郷土資料館で行われた夏休み工作教室の様子を収めた平成23年9月号の表紙写真『万華鏡の美しい世界に感動』が、『一枚写真・市町村の部』で、最優秀賞に当たる特選を受賞。特集で町内会活動への参加を呼び掛けた平成23年3月号が『広報紙 市の部』で入選し、同部門では2年連続の入選となりました。

市が昨年8月に制作した『きらり登別』は、『映像の部』で特選を受賞。市民が出演し、登別の魅力や元気を紹介した内容が評価されました。特選を受賞した2作品は、北海道代表として、全国広報コンクールに出品されます。

鬼たちが福を呼び込む

2012年鬼まつり



1月28日(土)、登別、幌別、鷺別、若草各学区で『2012年鬼まつり』(同実行委員会主催)が行われ、赤鬼や青鬼に扮した『元鬼ふりまき隊』が、各地区の商店街や飲食店、保育所、幼稚園などを訪問し、市民の無病息災や家内安全、商売繁盛を祈願しました。保育所では、鬼の登場に驚いた子どもたちが泣き出して保育士にしがみついたり、鬼に向かって豆を投げたりしていました。各地区のイベント会場では、餅つきや餅まき、アイスキャンデルの点灯などが行われ、参加者は一足早い節分を楽しみました。



▲鬼が現れ、恐がり泣く子ども(中央)とそれをなだめる母